

その使い手は、かつて輝かしい光の下で多数を統べていた男。
けれども現在では、闇の中で同じ闇を抱く弟としか行動しない男。
ザビーゼクターとは異なり、ホッパーゼクターはミレニアの元から離れようとしな
い。
なぜなら、彼女もまた瞳に闇を宿しているのだから。
ホッパーゼクターに触れた瞬間に、ミレニアは目を見張った。
いい顔になったな そんなことを、誰かに言われたような気がした。
ミレニアが我に返ると、ほんの少し触れただけであるはずのホッパーゼクターはすでに掌の上
にいた。
暫し啞然として、ミレニアは静かに目を細めた。

こうして栄光の道から転落した男のゼクターは、同じく栄光の道から転落した少女の手に渡っ
た。

【一日目・午後 / D - 3 ナジミの塔 階段の踊り場】

【ミレニア（女勇者）@DRAGON QUEST3】

[状態]：健康

[装備]：腹切りソード@METAL MAX RETURNS、夢見るルビー@DRAGON QUEST3、ホッパ
ーゼクター&ゼクトバックル@仮面ライダーカブト

[道具]：支給品一式×2、不明支給品0～2（ミレニアに支給された方は確認済み）

[思考]

基本：どんな手段を使ってでも生き残る。

1：出来る限り参加者を減らす。

2：ひとまず、待つ。

[備考]

参戦時期はロトになった後です。

ホッパーゼクター@仮面ライダーカブトに、使用者として認められました。

ザビーゼクター@仮面ライダーカブトが、ザビープレスを抱えて飛び立ちました。

038: 気まぐれサイケデリック（ 後遺症）	投下順に読 む	040: テメえの都合じゃ生きちゃいねえよ
037: 同じ星を見ている	時系列順に 読む	040: テメえの都合じゃ生きちゃいねえよ
019: LIFE A LIFE	ミレニア	050: ハートに巻いた包帯を僕がゆっくり ほどくから